

2年次前期・必修**1単位・15時間**

【概要・目的】

本科目は、社会保障における社会福祉制度を対象として、その理念を考察しつつ、具体的な現状と課題点について検討する科目です。社会保障には、年金や医療のように社会に生きる者の大半を対象とする制度と、いわゆる「社会的弱者」とされる児童や高齢者等、対象を一定の範囲に絞った制度との2種類があります。同じ社会保障の枠内ですが両者の制度を支える原理はまったく異なるといえます。そして後者の制度は、「社会福祉制度」と呼ばれています。後者の社会福祉制度の学修を通じて、医療職を目指す者として、現在の社会福祉制度に対しての具体的な批判と、それに対する対策を指摘できる知識の習得をはかることを目的とします。

【到達目標】

- 1) 講義初回で紹介する社会福祉法における基礎概念についていくつかのキーワードを用いて説明できるようになる。
 - 2) 講義第2回目以降で紹介する社会福祉分野における具体的な制度内容について、列挙し、現状と課題について理解できるようになる。
 - 3) 試験において、社会福祉制度における論点に対して、その内容を適切に述べることができる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ガイダンスと総論
 - 2) 貧困に対する対策 生活保護法、その論点と課題
 - 3) 高齢者に対する福祉 (1) 一高齢者のための福祉法制、介護保険法
 - 4) 高齢者に対する福祉 (2) 一介護保険法、高齢者の権利擁護
 - 5) 児童・家族福祉 (1) 一児童のための福祉法制、こどもの権利条約、少子化対策
 - 6) 児童・家族福祉 (2) 一児童虐待防止法
障害者福祉 (1) 一障害者のための福祉法制、障害者総合支援法
 - 7) 障害者福祉 (2) 一障害者差別解消法
 - 8) 講義全体のまとめ
-

【評価】

筆記試験 (70%)、出席状況および参加態度など (30%)

【教科書】

- ・福田素生ほか編 [2022] 『系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉(第23版)』医学書院
 - ・鳥野猛編 [2022] 『新・初めての社会福祉論』法律文化社
-

【推薦参考図書】

授業中に適宜指示する。

【その他】 講義内容について不明な場合は、kanamegu@wakayama-u.ac.jp まで。